



日南ロータリークラブ

~NICHINAN ROTARY CLUB since 1954 ~



よいことのために手を繋ぎあおう

2025-26年度クラブスローガン「臥薪嘗胆」

WEEKLY REPORT No.21

第 3448回 例会		開催日：2025年12月17日（水）	点鐘12:45
国歌		会員数	33 MU 3
ロータリーソング	我らの生業	出席免除	8(4) 欠席 5
4つのテスト	西島元利君	HC出席	21 出席 24
ゲスト		出席率	82.75% 先取MU 石灘、豊田、築瀬
		出席免除	落丸、清水、渡邊、日高
ビジター		欠席者	稲垣、鬼束、竹井（崇）、富満、花盛
例会行事	会長アワー		

会長時間（斎藤篤史会長）

半年間を振り返ると、一つひとつの活動に会員皆さまの思いと努力が込められており、改めて「クラブの力は人の力である」という事実を強く実感いたします。本日はその歩みを、順を追ってお話いたします。まず、今年度を迎えるにあたり、国際ロータリー全体を揺るがす出来事がございました。それは、セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトの予期せぬ辞任という極めて異例の事態です。RI 会長エレクトは、世界のロータリアンを導く最重要ポストであり、新年度開始直前の辞任は、世界中に大きな衝撃と懸念をもたらしました。しかしその後、国際ロータリーは極めて迅速に、フランチェスコ・アレツォ氏を新たな会長エレクトに選出。透明性の高いプロセスで組織を立て直し、世界規模の信頼を守る姿勢を示しました。この出来事はクラブレベルで活動する私たちにとっても、「理念に軸を置き、変化に柔軟に対応することの重要性」を強く認識させるものとなりました。こうした国際的な動きの中で迎えた 2025-2026 年度。私たち日南ロータリークラブも、気持ちを新たにスタートを切りました。スタートに先立ち、会長エレクトとして様々な研修を受けました。

● 3月8日・9日 PETS（会長エレクト研修セミナー）

クラブの運営方針、会長の役割、そしてロータリーの哲学を学ぶ貴重な二日間。

「クラブの未来は会長の理念で決まる」との言葉が心に深く残りました。

● 5月18日 地区研修協議会（野口遵記念館）

記念館の静謐（せいひつ）な空気の中、ロータリーの歴史と精神に触れ、

クラブ運営の指針を再確認する研修となりました。

● 6月8日 クラブ活性化セミナー（都城・中山壮）

幹事エレクト・菊池君と共に参加。

「会員が自然と参加したくなるクラブとは何か」

そのヒントを多くいただきました。

● 7月2日、年度一回目の例会にて会長就任。

所信表明では、「活力あるクラブ」「人が語り合い、つながるクラブ」この2つを柱に、新年度方針をお伝えしました。さらに嬉しいことに、新入会員3名を迎え、33名での新体制スタート。新たな仲間がクラブに加わるという活力は非常に心強いものでした。

● 7月23日 新入会員松田圭司君による 卓話「造園業の魅力」

専門分野の卓話は、会員相互理解を深め、ロータリーの「職業奉仕」の一側面を感じさせる、大変意義のある内容でした。

● 8月6日 道路愛護デー 清掃活動

早朝6:30からの活動でありましたが、会員皆さまが真摯に取り組む姿勢に、地域からの信頼はこうした継続した奉仕によって築かれると痛感いたしました。

入中君は遅刻してました。

● 8月20日 会員増強委員会アンケート報告（井野畑委員長）

クラブの現状と課題を可視化し、増強の方向性を皆で共有できた非常に有意義な時間でした。

● 8月27日 サマー親睦会・カラオケ大会

親睦を深める時間は、クラブの結束力を高め、新たな関係を築く大切な場。

和やかな雰囲気が、例会全体の活力にもつながっていきました。

● 8月30日 高校生就職支援セミナー 模擬面接

生徒たちは緊張しながらも、模擬面接官の質問に丁寧に対応してました。皆さんが希望している企業に入社できることを願っております。

● 9月17日 日南・日南中央・串間 3クラブ合同例会

峰松ガバナー補佐、日向ロータリークラブ徳永会長を迎え、久しぶりの合同例会が実現しました。地域のロータリークラブ同士が交流することで、活動の幅が広がり、互いに良い刺激を受ける機会となりました。

● 9月24日 雑誌会報委員長 西島元利君 会員卓話

「SNSによる次世代への情報発信」ロータリーの活動を“外に見える形で発信すること”の重要性を学び、現代的な広報の在り方について考えさせられた卓話でした。

● 10月1日 西本幸則ガバナー公式訪問（3クラブ合同例会）

ガバナーが会員一人ひとりと握手を交わされ、温かい交流の中でロータリーの精神を感じる時間となりました。続くクラブフォーラムでは、「居心地のよいクラブづくり」

をテーマに会員全員が意見を述べ、クラブの未来像を共有する貴重な機会となりました。

● 10月22日 国際奉仕委員会アワー 鬼束副委員長

講師：日南市役所 国際交流員 ゴンザレス・ホセ・ルイス氏

テーマ：「グローバリズム、国と国の間を超えて、対話の力とロータリーの使命を見つめなおす」

国際奉仕の根幹にある「対話」と「理解」を再確認し、クラブとしての視野が大きく広がった卓話でした。

● 11月8日 日南市少年野球秋季大会 特別協賛挨拶。

少年野球は、仲間と協力する力・礼儀・感謝の心・勝ち負けを超えた成長、こうした“人生に大切な力”を子どもたちに育む活動です。ロータリーの「青少年育成」の理念に合致するものであり、特別協賛という形で関わらせていただけたことは、クラブとして大変意義のあることでした。

● 11月19日 わかば奨学金授与式。田島逸男委員長

「わかば奨学金」は、さまざまな事情を抱えながらも学業に励む若者を支援し、その未来に光を届ける支援制度です。授与式では、奨学生一人ひとりが、自らの夢や将来について語る姿が印象的でした。その表情や言葉は、単なる経済的支援ではなく、「あなたの努力を地域の大人が認めている。応援している。」というメッセージが、確かに届いていることを物語っていました。

● 11月26日

会員卓話 峰松俊夫君

国際奉仕「マッチング・グラント」と「ポリオ根絶」について卓話をいただきました。クラブ・地区・財団の寄付を組み合わせることで国境を越えた奉仕を実現する仕組みとロータリーが世界的に推進しているエンド・ポリオ・ナウの活動そしてポリオと生涯向き合いながら希望を失わず生き抜いたロータリアン、ポール・アレクサンダーさんの生きざまのお話でした。

● 12月10日 年次総会と忘年会

こうして半年間を振り返ると、国際的な動きから地区活動、例会、奉仕、親睦、そして青少年育成まで、非常に幅の広い活動を展開できた半年でありました。そしてその根底には、会員お一人おひとりの参加と協力がありました。奉仕に参加する姿、卓話を担当する姿、親睦の場で笑顔を交わす姿、そして何より、例会に足を運びクラブを支える日常の姿。その積み重ねが、今日のクラブの雰囲気と活力をつくっています。あらためて、「クラブの力は人の力である」ということを強く実感した半年間でありました。下半期に向けて、私が大切にしたいことは次の三点です。

1. 上半期で育まれたつながりを継続し、さらに深めること
2. 「居心地の良いクラブづくり」を具体的な行動へと発展させること

3. 青少年育成・国際奉仕・地域奉仕のバランスを保ちながら、日南ロータリークラブの価値をさらに高めること

上半期を無事に終えることができましたのは、会員皆さまのご理解とご協力あつてのことと、心より感謝申し上げます。引き続き、皆さまのお力添えをいただきながら、共に下半期も前へ進んでまいりたいと存じます。上半期、本当にありがとうございました。下半期もどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告（菊池希樹幹事）

1. 国際ロータリー日本事務局より国際ロータリーの組織改編についてご案内が届いております。
2. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやまNo.309号が届いております。

情報提供卓話（情報委員会 田島逸男君）

1. 地区について

◆ 地区

地区とは国際ロータリーの管理の運営上まとめられた一定の地理的区域をいいます。国際ロータリーの管理の便宜上まとめられた一群のクラブの所在する、一定の地理的区域の名称である。日本のロータリークラブは、3つのゾーン・34の地区のもと活動し、第2730地区第3ゾーンは鹿児島・宮崎の68のロータリークラブから構成され、2,400名弱のロータリアンが日々、活動を行っている。

◆ ガバナー

地区の統括者をガバナーと呼び、地区内のクラブはガバナーのもとに管理されている。

◆ ガバナーエレクト

ガバナーに就任する前々年度の国際大会で選挙され、ガバナーエレクト（次期ガバナー）となります。そして国際協議会での研修を経た後、7月にガバナーとして就任し、それから1年間地区ガバナーの役目を果たします。

◆ 「ガバナーノミニー」

ガバナーに就任する2年前にガバナーノミニーという肩書きを担います。

◆ ガバナーノミニー・デジグネート

地区は、ノミニーを、ガバナーとして就任する日の直前24カ月以上36カ月以内に選出するものとする。選出されたロータリアンは、「ガバナーノミニー・デジグネート」の肩書を担うものとする。ガバナー就任2年前の7月1日よりガバナーノミニーの肩書を担うものとする。

◆ 「ガバナー補佐」

指定されたクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する責務を負う。地区指導者の継続性を図るため、1年任期を3期まで務めることができる。ガバナーの役割を分担する形で、クラブと地区を結びつける大切な役割を担う。仕事としては、「担当クラブを定期的に訪問する」「クラブの現状をガバナーに報告する」「会員の声を聞き、情報やアドバイスを提供してクラブを成功へ導く」などがある。

2. 日南ロータリークラブ「わかば奨学会」について

2004年国際ロータリー100周年と日南ロータリークラブ創立50周年を記念して「日南ロータリークラブ奨学会わかば」が日南RC独自で創立された。その時日南RCより400万円ほど基金として拠出。将来「特定非営利法人わかば奨学会」（仮称）を立ち上げる資金として今日まで積み立てられている。

現在までは会員からの寄付金やスマイル、そしてここ数年は地区補助金で予算組を行ってきたが、今年度より地区補助金が打ち切れ、現状では数年で収支が赤字となる見込みで、NPO法人を立ち上げるか、定期預金（基金）を取崩すか、或いは会員に再度寄付を募るか等の選択に迫られている。「わかば奨学会」委員会では今後フォーラムを開催して会員の建設的意見をお聞きする計画である。

スマイル

西島元利君：以前、ゲスト卓話で来られたテゲバジャーロ宮崎さんが見事にJ2昇格を決めました。一昨日のNHKニュースでもお話ししましたが、チームの初代スタジアムDJとしても本当に嬉しい限りです。これからも応援どうぞよろしくお願いいたします。

松田圭司君：12月10日の忘年会の二次会のお釣りをスマイルします。楽しい忘年会でした。ありがとうございました。



日南RC事務局	〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten堀川ビル2階 創客創人センター内
	TEL：0987-22-3363 FAX：0987-22-3515
2025-2026年度	会長：斎藤篤史 副会長：入中英雄 幹事：菊池希樹 雑誌広報委員長：西島元利
	例会：毎週水曜日 12:45～13:30 会場：ホテルシーズン日南（TEL：0987-22-5151）

※例会内でお話いただいた内容の原稿は soumu-nishijima@aisenkai-nichinan.jp まで送信ください。